

話し合いの進め方

【1回目】8月8日（金）

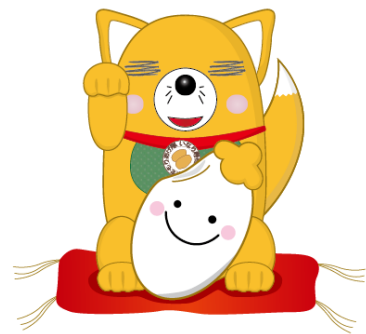
テーマ：多くの人に「**住みたい**」と思ってもらえるまちってどんなまち？
～「**住みたいまちミニ総合計画**」をつくろう！～

1 役割分担

リーダー（1人）、サブリーダー（1人）、書記（2人）、タイムキーパー（1～2人）を決めます。〔3分〕

2 使うもの

- ・B紙（グループごとで2枚）
- ・ふせん（1人20～30枚くらい使います。）
- ・サインペン（緑）
- ・色マジック



3 話し合い

（1）あたまの準備体操

自分が感じている「**今の豊川市の好きなところや物足りないところ**」を、グループ内で発表し合います。〔7分〕

手元に用意された自分の「応募用紙（コピー）」の①を参考にしながら、発表してください。

（2）まちのイメージを話し合います。

第6次豊川市総合計画の対象期間の最後となる平成37年度頃のまちのイメージについて話し合います。

ちょうど皆さんが26歳になる頃を想像しながら、その頃の豊川市が、多くの人に「**住みたい**」と思ってもらえるためには、どんなイメージのまちであればよいかを考えます。

【手順1】ふせんに書き出します。〔10分〕

- ・自分の意見をサインペン（緑）でふせんに書きます。

- ・手元の「応募用紙（コピー）」の③を参考にしながら、多くの人に「住みたい」と思ってもらえるようなまちのイメージを考えます。
- ・グループ内の仲間がどんなことを書いているかを、お互い参考にしても構いません。

（記入例）

「〇〇で〇〇なまち」

「〇〇があって〇〇があるまち」 など

【手順2】 B紙にグループ名を書きます。〔1分〕

- ・B紙の左上の部分にグループ名を書きます。
- ・グループ名の右側は空けておいてください。

【手順3】 ふせんをB紙に貼り付けます。〔5分〕

- ・グループ内の座席番号①の人から順番に、書いた内容を言いながら、B紙にふせんで貼り付けていきます。
- ・前の人と同じ又は似た意見を書いたふせんは、その近くに貼り付けます。

【手順4】 皆さんの意見を整理します。〔7分〕

- ・同じ又は似た意見を寄せたりしながら整理し、マジックで枠を書いて囲みます。
- ・寄せたふせんに共通する言葉（キーワード）を枠のそばに書きます。

【手順5】 グループとして目指すべきまちのイメージを決めます。〔15分〕

- ・皆さんが大人になる頃の豊川市が、多くの人に「**住みたい**」と思ってもらえるためには、どんなイメージのまちになっていけばいいかをグループで話し合います。
- ・皆さんが手順4で枠のそばに書いた言葉(キーワード)を組み合わせるなどして、次のような書き方を参考にしながら、目指すべきまちのイメージをグループとして決めます。
- ・グループで決めたイメージを、あらかじめ空けておいたB紙の上の部分に書きます。

（決定例）

「〇〇が〇〇で〇〇なまち」

「〇〇が〇〇で、〇〇が〇〇であるまち」 など

(参考)

平成 18 年度から平成 27 年度までを対象期間とする、現在の第 5 次豊川市総合計画では、目指すまちのイメージを

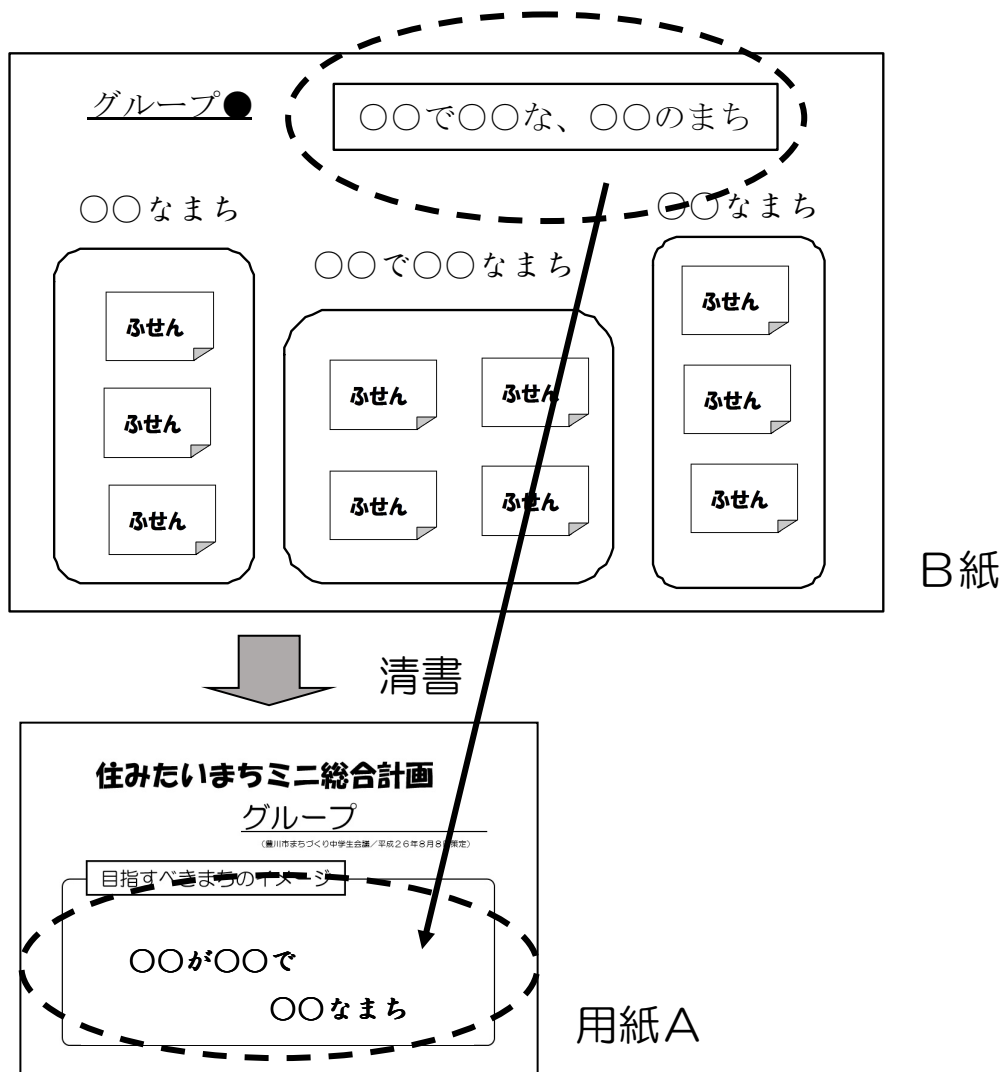
「光と緑に映え、ゆたかで、住みよい、夢のあるまち」

としています。

【手順 6】 まちのイメージを清書します。〔2 分〕

- ・グループとして手順 5 で決めた目指すべきまちのイメージを用紙 A にマジックで清書します。

(B 紙の完成と清書のイメージ)



(3) まちのイメージの実現方法を話し合います。

グループで話し合っただけで決めたまちのイメージを実現するためには、どうしたらよいかを話し合ってください。

【手順1】ふせんに書き出します。(10分)

- ・自分の意見をサインペン(緑)でふせんに書きます。
- ・グループ内の仲間がどんなことを書いているかを、お互い参考にしても構いません。

(記入例)

「〇〇を〇〇して〇〇する」

「〇〇を〇〇する」 など

【手順2】B紙にグループ名とタイトルを書きます。

- ・B紙の上の部分に、グループ名と、「〇〇〇(グループで決めたまちのイメージ)を実現するために」のようにタイトルを書きます。

【手順3】ふせんをB紙に貼り付けます。(5分)

- ・グループ内の座席番号①の人から順番に、書いた内容を言いながら、B紙にふせんを貼り付けていきます。
- ・前の人と同じ又は似た意見を書いたふせんは、その近くに貼り付けます。

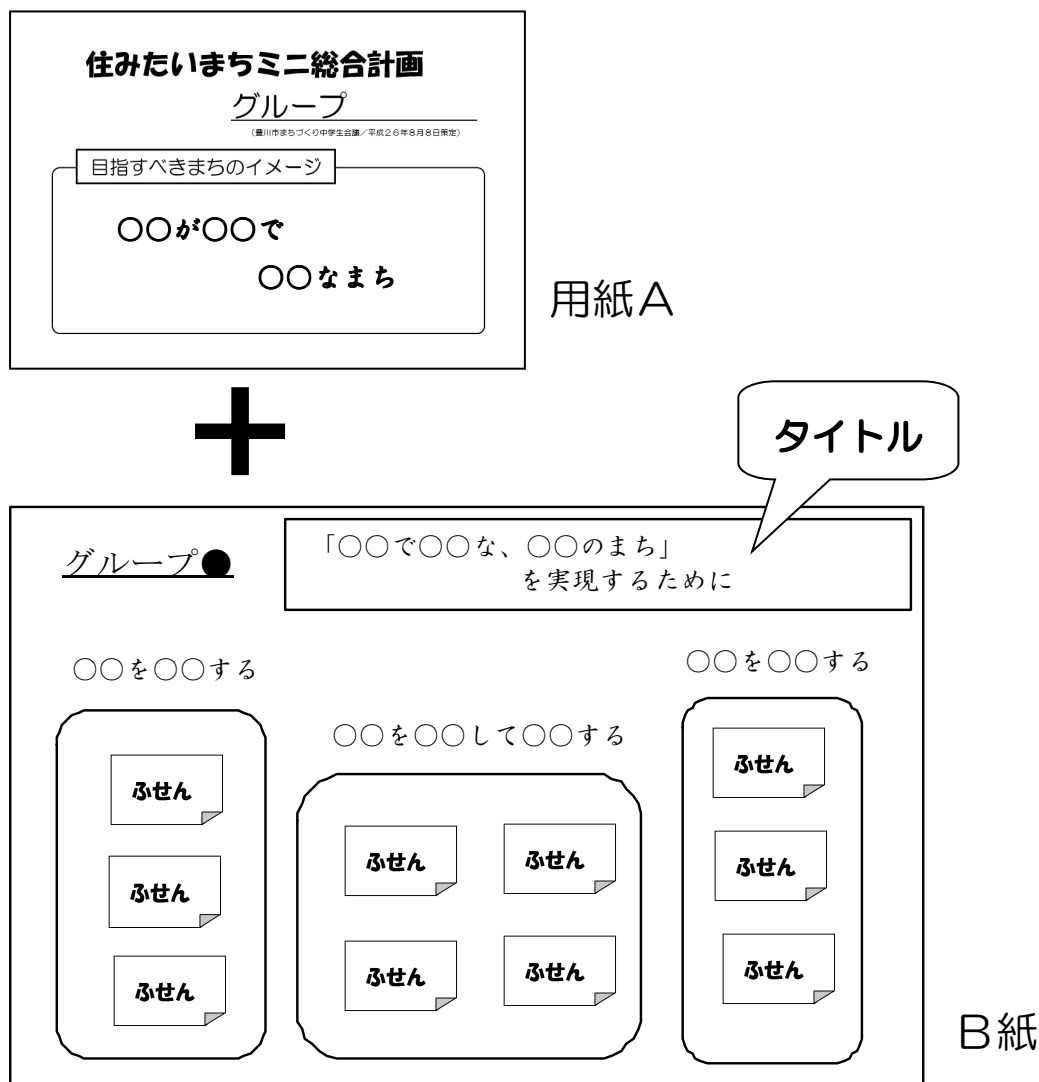
【手順4】みんなの意見を整理します。(15分)

- ・同じ又は似た意見を寄せたりしながら整理し、マジックで枠を書いて囲みます。
- ・整理して寄せた意見を代表できるような表現にまとめ、枠のそばに書きます。
- ・このB紙と、前半の話し合いで用紙Aに清書した目指すべきまちのイメージを合体させて、「住みたいまちミニ総合計画」を完成させます。

【手順5】

- ・グループで完成させた「住みたいまちミニ総合計画」を山脇市長が待つ市長室へ全員で届けます。

(住みたいまちミニ総合計画の完成イメージ)



5 発表の仕方

- (1) グループ名を言います。
- (2) 用紙Aに書いた内容を説明します。

例 / 「グループ〇では、住みたいまちミニ総合計画で目指すべきまちのイメージを〇〇〇〇と決めました。」

- (3) B紙に書いた内容を説明します。

例 / 「〇〇で〇〇な、〇〇なまちを実現するために、私たちは、〇個の取組みを考えました。一つ目は〇〇、二つ目は〇〇・・・」

(4) まとめます。

例／「このような取組みにより、私たちが大人になった頃の豊川市は、〇〇〇なまち
(用紙Aのまちのイメージ) となっていて欲しいと思います。」

6 話し合うときのルール

(1) 自分の意見は、恥ずかしがらず、はっきりと自由に発言しましょう。

(2) 相手の話をよく聞き、楽しく話し合いをしましょう。

(3) ふせんに書いたあとで発言した意見も、ふせんに書いてB紙に貼り付けましょう。

そうすることで、たくさんの良い意見を記録できます。

(4) 自分と違う相手の意見は特に大切なので、批判したりせずに話し合いましょう。